



細井 公 議員
(白新会)

問 市内の公園の除草対策は

市内の公園では、入口から遊具類までの間が雑草に覆われ、安全に遊べないなどの弊害が出たと聞いている。除草作業を定期的に行っても雑草の成長速度によっては、美観保持できる期間も短い。木材チップなどの技術導入も検討課題と考えるがいかがか。

答 公園全体の維持管理を含め研究していく

例年にない猛暑の影響から、雑草が急激に繁茂し、一部の公園で利用に支障があったことは認識している。木材チップの使用については、県内での使用状況を参考に、特徴や用途、さらには費用対効果を見極めながら、公園全体の維持管理も含めて研究していく。

問 児童・生徒の熱中症対策は

酷暑のため、夏休み期間中の校内活動の一部中止など対策がなされたと聞いた。その一方で、外部主催の催事で中学生が炎天下で出演したとも聞いている。夏休み期間中の部活動、登校日など、どのように熱中症対策を行ったか。来年度以降の考えも伺う。

答 熱中症への配慮を行う

各学校では、国や県からの通知にもとづき、熱中症が予想される場合は、中止や活動制限を行うなどの対応をしている。地域の行事についても児童・生徒の熱中症などの安全への配慮について、主催者側とよく相談したうえで協力するよう指導をしていく。



黒須大一郎 議員
(隼人)

問 どんなモール街が来るのか、どうなるの

地権者にも市民にも負担が掛かるのに、どこが来ているかも分からない。すでに少なくない税金も投入している白岡中周辺の新土地開発事業。その事業の必要性とそれによる環境負担やその事業負担について、説明責任を果たせるのは、市長である。回答を。

答 確固たる決意を持って取り組んで行く

商社をリーダーとする企業グループなど複数の企業から相談がある。少子高齢化、人口減少の中、本市が将来に向けて発展していくには、本区域の都市的土地利用を推進する必要がある。その推進に当たっては、自然環境に配慮した土地利用となるよう努めて行く。

問 この10年、公的料金は値上げばかり

年7,000万円税金がいる海洋センターは、半分は市外利用者、受益者負担の適正化は。効果的な業務運営の推進として、相談業務や時間外申請業務にAIなどを活用し、高齢化社会を見据え、お悔やみ総合窓口の導入も。全ては、少し先の土台（行財政）づくりのために。

答 大綱は必要に応じて見直しを図る

海洋センター使用料は、31年10月予定の消費税率引上げに合わせ見直しを行う。お悔やみ総合窓口の導入は、場所の確保など現状ではむずかしい。市行財政改革推進大綱は、AIの実証実験結果や社会情勢などを的確に捉え、必要に応じて見直しを図る。



B&G海洋センター